

この学校にわたしたち

2023. 10. 12

N038

このメンバーで行く修学旅行③ ～キラビトの紹介



以前、ある学級でその日にあった“キラリと光る”善い行動をした児童をキラビトと称し、付箋に書いて紹介合うという実践をしていました。6月には白山子ども園に行き、午前中、園児や職員の様子を見させていただきましたが、そこでは保育士が何か園児の素敵なことに気づいた時、瞬時に「みんなちょっと見て～、〇〇ちゃんがこんなこと発見したよ～」と紹介をしていました。称えることはその子の自信になるだけでなく、互いのよいところを見つけようとするこ

で自他共の成長につながっていきます。大人が周りの子のよいところを見つけ、伝えていくことは、子どもたち自身も友だちのよいところを見つけようとしていきます。さて、私は修学旅行の2日間で、些細なことかもしれませんがいくつも感心させられたことがあります。それは、①夕食前、席に座って待っている時に自然と1人の子が周りの子のコップを集め、水を注いだこと、②昼食後、食べ終わった皿・スプーン、ジュースのパックを机の端にみんなの分を集めておいたこと③学校が近づいてきた時、バスの中で倒していたシートをもとに戻したり、閉めていたカーテンをもとに戻したりしたこと…教師からの指示ではなく自分たちで当たり前のようにしている姿に感心させられました。最近、大人でもなかなか見られない光景…私も教師人生の半分くらい修学旅行に行っていますがなかなか見たことはありません。

きっと、ご家庭で教えていただいたか保護者の方がしている姿を何度も目にしているのではないのでしょうか。全員がキラビトで、今年もとても思い出深い修学旅行となりました。

校長先生、一緒にいきませんか？

担任を離れてから修学旅行では専ら太秦映画村では、子どもたちが楽しんでいる間、困ったことが起こったらすぐに連絡しにくる場所として噴水広場で待機をすることが恒例となっています。待機場所に行く前にアイスクリームやジュースを購入してベンチを陣取るのですが今年は昼食後、少しお腹が空いていたので、みたらし団子と肉巻きおにぎりに目を付け、購入しようと高校生に紛れて列に並んでいました。あと少して自分の番…という時に「校長先生、一緒にいきませんか…」との子どものお誘いの声。ほんの一瞬、頭を肉巻きおにぎりが横切りましたが、誘ってくれてとても嬉しく、すぐに子どもたちと忍者からくり屋敷に向かいました。そうやって声をかけられるなんて気を遣わせましたね。(でも、帰ってきてからちゃんと肉巻きおにぎりは食べました)